



パーソナリティは高校生

FMきりしま

霧島市のコミュニティーFM局「FMきりしま」は、市内の高校生がパーソナリティを務める番組を放送している。5校の生徒たちが週替わりで担当し、放送内容を立案。生徒ならではの目線で、学校の魅力を発信している。

番組は「未来のキミへ」Fromきりしま。毎週金曜、午後8時半から30分間放送している(再放送は毎週日曜同時刻)。単人工業、霧島、国分、国分中央、福山の5校。月1回程度、各校の生徒数人がFM局を訪れ、パーソナリティを務める。

霧島市国分
ラジオ番組の収録に臨む高校生ら

市内5校、週1回放送

らのサポートを受けて収録に臨んでいる。国分中央ロータリークラブ(北山和義会長)の設立30周年事業の一環として、昨年11月下旬に始まった。次世代を担う若者の声を広く届けることで、地域の活性化につなげたいとの思いがある。

だった福山高校は、台本を用意し、吹奏楽同好会の演奏や科学研究部員へのインタビューを交えて紹介。単工業高校は、2月の「単工業」展を中心に収録した。福山高校生徒会長の2年、大山美早希さんは「緊張で最初は声小さくなったけど、楽しく紹介できた。学校の魅力を少しずつ伝えたい」と笑顔。北山会長は「できるだけ多くの高校生が出演し、さまざまな声を発信したい」と抱負を語った。放送は30周年記念式典が開かれる4月下旬までを予定している。

(山下翔吾)